

● 肝斑とは

一般的に、30～40代のアジア人の女性に多く見られるシミの一種で、両頬に同じようにできるのが特徴です。

原因ははっきりとしていませんが、女性ホルモンのバランスが関係していると言われています。肝斑は他のシミと混在している場合が多く、見分けるのが難しいので、ただのシミだと思い込んでしまう事もあります。

肝斑の治療には、トラネキサム酸やビタミンCなどの内服や外用、イオン導入などを長期にわたって継続する必要があり、難治性の肝斑の場合にはそれでも色素が残ってしまうことがあります。次のステップの有効な治療法もなく、「肝斑だから・・・」、と今まででは、あきらめている方も多かったのです。

● 治療期間

肝斑は、ホルモンバランスの崩れなどの原因によって何らかの作用で常に炎症が続き、その結果メラニンをどんどんつくりだし「炎症性の色素沈着」を起こしている状態といわれています。炎症を起こさないくらいの弱いパワーでレーザー照射を長期的にする事により、肌の中に滞留しているシミの原因であるメラニンを少しずつ壊していき、安全で確実に肝斑を治療します。

● 肝斑の再発は？

一般的な肝斑治療で限界があるといわれている難治性の肝斑は、Qスイッチヤグレーザーでのレーザー治療を4・5回ほど繰り返す事により、確実に色素の減少がみられます。

元の色素に戻させないために、また、より効果をだすためには、継続して治療していく事が望ましいでしょう。

● レーザートーニングのメリット

肝斑以外にも、シミ・そばかす・くすみ・色素沈着にも効果がある為、万脳性に優れ、この“肝斑レーザー”のみで、女性のお悩みベスト3ばかりでなく、すべての要素を解決してしまう優れものです。

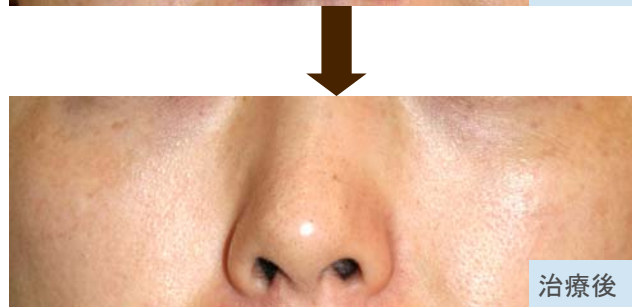
● 治療経過

照射中の痛みは、パチパチと輪ゴムを軽く弾いた程度です。治療後は赤みもほとんどなく、ダウンタイムもありません。その為、レーザー治療をしたことがない人の登竜門でもあります。

《 治療の流れ 》

①医師の診察 ⇒ ②メイク落とし⇒ ③治療（照射時間 約10分）

■ 症例



両頬のベースの肝斑と、その上にあるシミまでもが、きれいに取れています。また、くすみも解決し、肌のトーンまで上がり毛穴まで引き締まっている事がわかります。

《 料金 》

顔全体 1回 63,000円 両頬+鼻 1回 42,000円